

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

絆を強め、自分らしさを発揮できる子どもの育成
人、もの、地域とのかかわりをとおして

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、平成20年から3年間、生徒指導の研究指定を受け、生徒指導の機能を生かした教育活動について研究実践を行ってきた。その後も、三つの機能（共感的人間関係を高める、自己決定の場を与える、自己有用感を高める）を基盤として、教育活動に取り組んでいる。

今、世界各地における、環境、人権、平和等の問題は、つきつめていくと人と人との営みの中で起こっている。わたしたちは、これからの世の中の担い手を育てるとき、社会の中で自分らしさを発揮しながら、人や社会との絆を強め、よりよい人間関係をつくっていける子どもたちを育てることが大切であると考えます。

持続可能な発展のための教育（ESD）は、社会の中で自らを生かす能力や、人・社会の関わりやつながりを尊重できる態度の育成をめざしている。この考え方は、本校の教育活動のねらいと一致している。そこで、ESDを推進していくために、子どもたちのかかわりを大きく「人」「もの」「地域」の面からとらえ実践に取り組むことにした。三つのかかわりを体験することで、子どもたちに、これからの社会を生き抜く力をつけていくことができると考えた。

2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

三つのかかわりのねらいと計画内容、それによって育つ力をつぎのように考えた。

| かかわり | ねらい | 取り組む内容 | 育つ力 |
|---------|---|--|--|
| 人とかかわり | 友達や異年齢の人たちと関わることで、自他の良さを認め合うことができ、自分に自信がもてるようになる。 | ・やまもも班活動（縦割班活動） ・保小連携（春日保育園） ・小中連携（豊岡中） ・授業像を意識した授業 | ・問題や現象を多面的にとらえる思考力 ・人間尊重・環境尊重などの価値観を育む力 |
| ものとかかわり | 自然を大切に作る心が育ち、環境を考えて行動できるようになる。 | ・栽培活動（生活科・委員会） | ・情報収集力 ・コミュニケーション能力 |
| 地域とかかわり | 地域に支えられていることがわかり、感謝する心とともに、地域を愛する態度が育つ。 | ・三世代交流活動 ・感謝する会 ・町たんけん（生活科） ・町工場（社会） | |

| 24年度 ESDプログラム | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|----------------|----------------|----|----------------|-----------------------------|----|-----|---------------|------|----|---------------|-------------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 人との かかわり | 1年生を 迎える会 | やまもも ランチタイム | | やまもも オリンピック | | | | やまもも ハイキング | | | 6年生を 送る会準備 | 6年生を 送る会 |
| | やまもも班活動(毎週金曜日) | | | | | | | | | | | |
| | 中学生との合同部活練習 | | | | | | | | | | | |
| | プール交流 | | | | 遊び交流 | | | | 体験入学 | | | |
| | 授業像を意識した授業 | | | | | | | | | | | |
| かも かの わりの | 夏やさいを育てよう | | | | 冬やさいを育てよう | | | | | | | |
| 地 か 域 わ り の か | | 三世代交 流活動 | | | | | | 三世代交 流活動 | | | 感謝する 会 | |
| | | | | | がんばっている豊の人をさがそう 校区の町工場見学 | | | | | | | |

3 Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

人・もの・地域との関わりを関連づけたESDプログラムを低・中・高別に設定し実践することにした。

(1) 1年生を迎える会

1年生を「やまもも班」に迎え入れ、一年間のやまもも班活動が始まります。



(2) 授業像を考えよう

授業をどのようにしたいか、自分たちで話し合って授業の目標をたてます。授業像を意識することで、互いの意見を尊重し合える授業を行います。



(3) やまももオリンピック

委員会が中心になって種目を決め、やまもも班ごとに協力して競技する児童集会です。



(4) 三世代交流活動

保護者・地域の人と一緒に年2回、校内の奉仕活動を行います。草取りや落ち葉拾いを行った後、おやつを一緒に食べます。



(5) 町たんけん

校区のお店を訪ね、仕事の様子を調べます。調べた結果は学習発表会で紹介します。



(6) 6年生を送る会

一年間やまもも班でお世話になった6年生に感謝します。



4 Type of materials to be used (使用する教材)

- ・「ハイパーQ U」 教育評価研究所
- ・「おおきな夢 ふくらむ未来」 豊橋市教育委員会 2012
- ・「初等教育資料」 文部科学省 2013

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

- ・ ハイパーQ Uを使い、学級満足度を図る。満足度の高い子どもは、学級内の人間関係をつくる能力が育っていることがわかる。満足度が低い子どもには、どのような手だてを講じたらよいか、評価表をもとに検討する。
- ・ 保護者を対象に年2回「教育活動アンケート」を行う。E S Dプログラムを実践することで、子どもたちに育てたい力がついてきたか判断してもらう。アンケート結果を分析し、方向性の見直しを図っていく。
- ・ 子どもも自己評価を行い、自分の成長と課題点に気づかせるようにする。
- ・ 学校評議員会で、評議員にE S Dプロジェクトを評価していただき、次のアクションプランにいかす。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

2/9/2013

校長 豊橋市立豊小学校

